

平成29年度 第15回 四国中央市市民自治推進委員会 会議録

1. 開催日時 平成29年8月21日（月） 19時00分から21時00分まで
2. 場 所 四国中央市保健センター 1階 集団指導検診室
3. 出席者（委員長）鈴木 茂
（副委員長）大西 誠治
（委員）岩村 由香里、山本 照男、坂上 秀樹
徳永 幸夫、高岡 淳、篠原 洋子、宮崎 恵、井川 剛
（事務局）市民部長 塩田 浩之
市民交流課長 金崎 佐和子
守屋 伸康、大久保 隆文、青木 大、木村 称久
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開 会
 2. 委員長あいさつ
 3. 審議事項
 - （1）地域コミュニティ活性化事業について
 - （2）協働事業の推進について
 - （3）その他
 4. 閉 会

6. 会議録

発言者	発言内容
委員長	<p>鈴木委員長挨拶 第15回市民自治推進委員会 審議事項 （1）地域コミュニティ活性化事業について （2）協働事業の推進について （3）その他 説明等を事務局より願います。</p>
事務局	<p>（1）地域コミュニティ活性化事業について 地域コミュニティ活性化事業 主な事業実績（資料①） 川滝地区コミュニティ協議会「買い物」に関する住民アンケート調査結果と りまとめ（資料②） 平成28年度 地域コミュニティ活性化モデル事業 アンケート調査報告書 （資料③） 平成29年度 地域コミュニティ活性化事業 事業計画（資料④） 地域コミュニティ活性化事業 今後の展開（資料⑦）に基づき説明</p>
委員長	<p>これについて何か意見はあるか。</p>
委員	<p>川滝地区は様々なことを積極的に取り組んでいる。この流れでもっと活性化 して行ってほしい。</p>
事務局	<p>川滝地区では、今年の6月から「葱尾わがまま市」という産直市を、毎月1 回、旧葱尾保育所で行うなど波及効果が生まれている。</p>
委員	<p>「葱尾わがまま市」は認知度が高く、周りからの評価も良いので参加したい と思っている。</p>
委員	<p>「葱尾わがまま市」は、地元の品を生産者から直接話を聞きながら楽しく買 い物ができるので、コミュニティの輪が広がる。</p>
委員	<p>平成29年度 地域コミュニティ活性化事業 事業計画（資料④）について、 事業計画はどのようにして定めているのか。</p>
事務局	<p>住民集会で話し合った内容をまとめた「地区コミュニティ計画」に基づき事 業を検討し、総会に諮って決定している。</p>
委員	<p>川滝地区コミュニティ協議会「買い物」に関する住民アンケート調査結果の とりまとめ（資料②）について、質問16に利用したい支援策として宅配や移 動販売とあるが、行政が直接取り組むのは難しくないのか。難しい場合に他 にどのような支援ができるのか。過去の事例はあるのか。</p>
事務局	<p>宅配や移動販売については、行政が直接取り組むには難しい内容と考えられ るが、民間業者等とタイアップする方法がある。例えば、喜多郡内子町では 「セブンイレブン」が移動販売を行っている。そういった小売業とタイアッ プすることが考えられるのではないかと思う。</p>

委員	地域コミュニティ活性化事業 今後の展開（資料⑦）について、新規事業実施希望地区として三島地区と中曽根地区があるが、こういった形の説明会を行う予定なのか。
事務局	地域の実情もあるが、事業についてできる限り広く周知できるような説明会を行いたいと考えている。最終的には地域の方の判断にはなるが、市としては様々な方に参加してもらうことが事業を行うにあたっての強みになると考えているので、これまでの事業の経緯などを説明して、なるべく多くの方が集えるような説明会にしたいと考えている。
委員	平成28年度 地域コミュニティ活性化モデル アンケート調査報告書（資料③）について、地域コミュニティ活性化事業を「知らなかった」と答えている人が多いため、今後は更なる周知が必要ではないか。
事務局	アンケートにある「知らなかった」などの認知度が低いことについて、今後の展開として、新規地区では住民アンケートなどの実施を考えている。住民集会に参加できない方にアンケートを通じて事業に参加する機会をつくり、多くの意見をもとに事業計画づくりに努めたいと考えている。
委員	人を集めようとするは大変だが、アンケートは気軽に意見が聞けて、その地域の課題を集約することができるため、非常に良い考えだと思う。
委員	地域の問題が複雑化してきて、まとめようがないのが現状だが、三島地区、中曽根地区の地元説明会や住民集会を行う際には、個々の課題について集約して話しをまとめる人が必要ではないか。
事務局	地元説明会や住民集会には地域支援を専門に活動している方をコーディネーターとして依頼する予定であり、また職員についても事前に地域の方の意見を吸い上げられるような研修を行ったうえで住民集会などに参加することとしている。
委員	アンケートで得た意見に沿って事業を進めていけば、参加者の増加は年々見込めると思う。
委員	各地域で、年齢層や組織づくりは違うが、住民集会などの核となる話し合いの場では可能な限り、話をまとめられる若い人を活用していくべきである。
委員	当事業を行うにあたって、自治会という組織が大変重要な役割を担うと思うが、具体的に自治会はどのような形で事業に関与するのか。
事務局	自治会も地区コミュニティ協議会の構成メンバーとして参加することを考えている。
委員	まずは、何事も参加してもらうことが第一である。そのためにこういった内容が参加促進につながるのか、検証する必要がある。それを今後の展開に活かして活性化に努めてほしい。
委員長	他に何か意見はあるか。 （質疑なし）
委員長	では次に、「協働事業の推進について」事務局よりお願いする。

事務局	<p>(2) 協働事業の推進について 四国中央市協働によるまちづくり基本指針(資料⑤) 協働事業に関する現状調査要領(資料⑥)に基づき説明</p>
委員長	<p>これについて何か意見はあるか。</p> <p>(質疑なし)</p>
委員長	<p>最後に「その他」について事務局より願います。</p>
事務局	<p>(3) その他 四国中央市地域コミュニティ基本計画について、計画期間が平成 25 年度から平成 29 年度までとなっているが、現在、本計画に基づいて地域コミュニティ活性化事業を拡大中であるため、本計画を当面の間、延長することを提案したい。</p>
委員長	<p>これについて何か意見はあるか。</p> <p>(質疑なし)</p>
委員長	<p>四国中央市地域コミュニティ基本計画を当面の間、延長することを承認しても良いか。</p> <p>(全員賛成)</p>
委員長	<p>これにて閉会とする。</p> <p>閉 会</p>